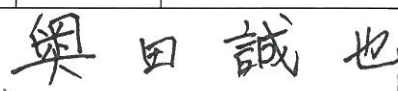

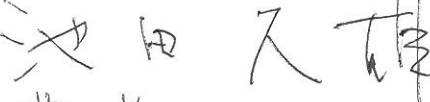

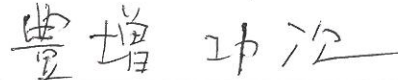



審査結果の要旨

報告番号	乙 第 2787 号	氏名	吉村 彩子
審査担当者	主査	 	
	副主査	 	
	副主査	 	
<p>主論文題目：Serum Uric Acid is Associated with the Left Ventricular Mass Index in Males of a General Population (一般住民男性における血清尿酸値と左室重量係数の関連)</p>			

審査結果の要旨 (意見)

一般住民において尿酸と左室重量係数との関連を調べた報告はない。そこで左室肥大の評価として心エコーを用い左室重量係数を計算し一般住民における尿酸値と左室重量係数の関連を疫学的に検討した。対象は 2009 年に福岡県田主丸町で行った住民検診受診者 1,943 名 (男性 774 名、女性 1,169 名) とし、男性において stepwise 法による多変量解析では、左室重量係数は収縮期血圧、降圧薬治療、尿酸、BMI、飲酒習慣の順に優位に関連していた。さらに、男性において logistic 回帰分析による尿酸の最低値群に対する最高値群の左室肥大のオッズ比は、様々な交絡因子で補正後も 1.77 倍 ($p < 0.05$) と優位に高かった。尿酸と左室肥大との関連を明らかにした臨床的に有意な論文である。

論文要旨

これまで高血圧を有する非糖尿病患者や降圧剤を内服していない日本人男性において、尿酸と左室肥大の関連を検討した報告があるが、一般住民において尿酸と左室重量係数との関連を調べた報告はない。そこで、我々は左室肥大の評価として心エコーを用い左室重量係数を計算し一般住民における尿酸値と左室重量係数の関連を疫学的に検討した。対象は 2009 年に福岡県田主丸町で行った住民検診受診者 1,943 名 (男性 774 名、女性 1,169 名) とし、尿酸値は女性より男性が高値であるため男女に分けて分析した。男性では左室重量係数 3 分割別に様々な変数との関連を見たところ、年齢、BMI、収縮期血圧、降圧薬治療、中性脂肪、飲酒習慣に加え、左室重量係数と有意な正の関連を認めた。男性において、stepwise 法による多変量解析では、左室重量係数は収縮期血圧、降圧薬治療、尿酸、BMI、飲酒習慣の順に有意に関連していた。さらに、男性において logistic 回帰分析による尿酸の最低値群に対する最高値群の左室肥大のオッズ比は、様々な交絡因子で補正後も 1.77 倍 ($p < 0.05$) と有意に高かったが、女性では有意差を認めなかった。一般住民検診の結果から、尿酸と左室肥大の関連には男女差があり、男性の高尿酸血症は心エコーでの左室肥大に有意に独立して関連していた。